

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準	個に応じた指導							
小数×整数	1	問題場面を表すテープ図に数を書き込む算数的活動を通して、純小数×整数(1位数)の計算は、0.1を単位として、計算すればよいことを理解することができる。	<p>1. 問題を理解する。</p> <table border="1"> <tr> <td>1皿分の材料 デザートのもと…1ふくら いちご…4こ 牛乳…0.2ℓ</td> <td>デザートを1皿つくるのに、0.2ℓの牛乳を使います。6皿分つくるのに、全部で何ℓの牛乳を使うでしょう。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 半具体物を使って、答を予想する。 テープ図・数直線で数量関係を明らかにする。 整数の場面に置き換えて式を考える。 図をもとに、立式する。 <p>2. 課題をつかむ</p> <p>小数×整数の計算の仕方を考えて説明しよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> $0.2 \times 6 = 0.2 + 0.2 + 0.2 + 0.2 + 0.2 + 0.2 = 1.2$ $0.2 \text{ ℓ} = 2 \text{ デシテール}$ $2 \times 6 = 12$ $12 \text{ デシテール} = 1.2 \text{ ℓ}$ 0.1のいくつ分で考える。 $0.2 \times 6 = 0.1 \text{ の } 2 \times 6 \text{ 個分}$ で 1.2 ℓ <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる</p> <p>0.1のいくつ分と考えると、(かけ算九九を用いて)かけ算の計算ができる。 $0.2 \times 6 = 0.1 \text{ が } 2 \times 6$ で 12 こ $0.2 \times 6 = 1.2$</p> <p>6. 確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.1のいくつ分で考えた計算の仕方をペアで確かめる。 フラッシュカードで計算練習をする。 <p>7. 振り返る。</p>	1皿分の材料 デザートのもと…1ふくら いちご…4こ 牛乳…0.2ℓ	デザートを1皿つくるのに、0.2ℓの牛乳を使います。6皿分つくるのに、全部で何ℓの牛乳を使うでしょう。	<p><関心・意欲・態度> 小数×整数の計算に関心をもつ。</p> <p><数学的な考え方> 0.2×6の計算の仕方を、0.1のいくつ分に着目して「0.2…0.1の2個分、0.2×6…0.1の2×6個分で1.2」というように、整数の計算にして考える。</p>	<p><<つかむ段階>> 数直線を使って立式の根拠を考える。 (0.2の6つ分) (0.2+0.2+…) (1皿分が2ℓだったら)</p> <p><<考える段階>> 2ℓの6本分のテープ図・数直線と対比させて考える。</p> <p><<深める段階>> 0.1のいくつ分で考えると、整数×整数と同じ考え方が使えることをおさえる。</p>					
	1皿分の材料 デザートのもと…1ふくら いちご…4こ 牛乳…0.2ℓ	デザートを1皿つくるのに、0.2ℓの牛乳を使います。6皿分つくるのに、全部で何ℓの牛乳を使うでしょう。										
	2	帯小数×整数(1位数)を計算する算数的活動を通して、0.1のいくつ分かを考えれば、整数の筆算と同じように計算できることに気づき、筆算で計算することができる。	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>4.2mのひもを3本使います。ひもは全部で何mいるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ図・数直線で数量関係を明らかにする。 4.2mは、0.1の42個分であることを確認する。 0.1を単位にして計算する。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>九九が使えない小数×整数の計算の仕方を考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 整数×整数の筆算の手順で考える。 小数点の位置を考える。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>小数×整数の筆算は、整数×整数と同じように計算して、積の小数点は、かけられる数の小数点にそろえてうつ。</p> <table border="1"> <tr> <td>4. 2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>12. 6</td> <td></td> </tr> </table> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1"> <tr> <td>(じっくり) 2.8×5の筆算のしかたを説明する。</td> <td>(チャレンジ) 方眼を使って、小数×1位数を筆算で計算する。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	4. 2	3	×	↓	12. 6		(じっくり) 2.8×5の筆算のしかたを説明する。	(チャレンジ) 方眼を使って、小数×1位数を筆算で計算する。	<p><数学的な考え方> 4.2×3筆算の手順を42×3と同じと考える。</p> <p><知識・理解> 4.2×3の筆算で積の小数点はかけられる数の小数点にそろえてうつことがわかる。また、積の末尾が0になる場合0と処理することがわかる。</p>
4. 2	3											
×	↓											
12. 6												
(じっくり) 2.8×5の筆算のしかたを説明する。	(チャレンジ) 方眼を使って、小数×1位数を筆算で計算する。											
3 本時	小数×整数(2位数)を計算する算数的活動を通して、計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>毎日1.7kmのジョギングをしている人がいます。28日間で何km走るでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ図・数直線で数量関係を明らかにする。 立式し、前時との違いを明らかにする。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>小数×2けたの整数の計算の仕方を考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.1を単位として、整数×整数の筆算の手順で考える。 小数点の位置を考える。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>小数×2けたの整数の計算は、整数×整数で積を求めて、0.1のいくつ分で答えをだす。</p> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1"> <tr> <td>(じっくり) 方眼を使って、小数×2桁整数の筆算の練習問題に取り組む。</td> <td>(チャレンジ) 小数×2位数、小数×1位数を筆算で計算する。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	(じっくり) 方眼を使って、小数×2桁整数の筆算の練習問題に取り組む。	(チャレンジ) 小数×2位数、小数×1位数を筆算で計算する。	<p><数学的な考え方> 0.1をもとにすれば、1.7×28は17×28の筆算の手順と同じと考える。</p> <p><表現・処理> 1.7×28などの小数×整数(2位数)の計算が筆算でできる。</p>	<p><<つかむ段階>> およそ2kmと考えて積の見当をつける。</p> <p><<考える段階>> 積の小数点のうちかたを計算のしかたと関連させて説明できるようにする。 積は0.1の476こ分だから47.6</p>						
(じっくり) 方眼を使って、小数×2桁整数の筆算の練習問題に取り組む。	(チャレンジ) 小数×2位数、小数×1位数を筆算で計算する。											

<p>小数÷整数</p>	<p>4</p> <p>0.1 を単位として、計算したり、図を使って等分したりする活動を通して、帯小数÷整数（1位数）の計算原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>7.2^{リットル}の牛乳を3つの容器に等分します。1つ分は何^{リットル}でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ図・数直線で数量関係を明らかにする。 整数の場面に置き換えて立式する。 7.2は0.1の72こ分であることや7と0.2を合わせた数であることを確認し、考え方の見通しをもつ。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>小数÷整数の計算の仕方を考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.1のいくつ分で考える 7.2÷3・0.1が72÷3で24こ分だから2.4^{リットル} 7.2^{リットル}を7^{リットル}と0.2^{リットル}に分けて考える 7^{リットル}を3等分する 7÷3=2…1 1つ分は2^{リットル}で1^{リットル}あまる。 あまった1^{リットル}と0.2^{リットル}で1.2^{リットル} 1.2÷3・0.1が12÷3で4こ分だから0.4 2+0.4=2.4^{リットル} かけ算でやったように、小数点をそろえて筆算する。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>①7÷3をする ②商の小数点をわられる数の小数点にそろえてうつ。 ③あとは整数のわり算と同じように計算する。</p> <p>6. 確かめる。 練習問題に取り組む。</p> <p>7. 振り返る。</p>	<p><数学的な考え方> 7.2÷3の計算の仕方、0.1のいくつ分に着目して「7.2・0.1の72個分、7.2÷3・0.1の72÷3個分で2.4」というように、整数の計算にして考える。</p> <p><知識・理解> 帯小数÷整数（1位数）の意味や計算原理、方法、筆算のしかたがわかる。</p>	<p>《つかむ段階》 およそ7^{リットル}と考えて商の見当をつける。</p> <p>《深める段階》 7.2^{リットル}を7^{リットル}と0.2^{リットル}に分けて考えた方法と筆算を結びつける。</p> <p>《まとめる段階》 小数点をどの時点でうつかをおさえ、確認する。</p>		
	<p>5</p> <p>小数÷整数を計算する算数的活動を通して、商が1より小さくなる場合の筆算方法を理解し、計算することができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>10.8÷12の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10÷12ができないことを確認する。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>小数÷整数で一の位に商がたてられないときの筆算の仕方考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.1を単位として、整数÷整数の筆算の手順で考える。小数点の位置を考える。 10.8の10はわる数の12より小さいから、商の一の位に0を書き、小数点をうってから計算する。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>一の位に商がたてられないときは、0を書き、小数点をうってから計算する。</p> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1" data-bbox="575 1558 1186 1684"> <tr> <td>(じっくり) 位取りのある計算用紙を使って練習問題に取り組む。</td> <td>(チャレンジ) 小数÷整数の筆算の練習問題に取り組む。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	(じっくり) 位取りのある計算用紙を使って練習問題に取り組む。	(チャレンジ) 小数÷整数の筆算の練習問題に取り組む。	<p><知識・理解> 10.8÷12で10.8の10はわる数の12より小さいから、商の一の位に0を書き、小数点をうってから計算することがわかる。</p> <p><表現・処理> 10.8÷12などの小数÷整数で商が1より小さくなる場合の計算を筆算でできる。</p>	<p>《考える段階》 位を意識して計算できるようにする。</p> <p>《深める段階》 一の位に商がたたないときは0をかき、わられる数の小数点にそろえて小数点をうつことをおさえる。</p>
(じっくり) 位取りのある計算用紙を使って練習問題に取り組む。	(チャレンジ) 小数÷整数の筆算の練習問題に取り組む。					
<p>あまりのあるわり算</p>	<p>6</p> <p>小数÷整数で商を1/10の位まで求める算数的活動を通して、あまりを求めることができる。また、その計算の確かめをすることができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>8.2÷6の計算をして、商を1/10の位までもとめましょう。また、あまりも出しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> あまりが出そうだと考える。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>あまりのある小数÷整数の計算の仕方考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> あまりの表し方を考える。 0.1のいくつ分と考えた計算なので、あまりも0.1のいくつ分と考える。 あまりの小数点の位置を確認する。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>あまりの小数点はわられる数の小数点にそろえてうつ。</p> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1" data-bbox="575 2299 1186 2464"> <tr> <td>(じっくり) あまりも0.1のいくつ分として考えて計あまりの小数点の位置を確かめて計算する。</td> <td>(チャレンジ) あまりのある小数÷整数の練習問題に取り組む。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	(じっくり) あまりも0.1のいくつ分として考えて計あまりの小数点の位置を確かめて計算する。	(チャレンジ) あまりのある小数÷整数の練習問題に取り組む。	<p><数学的な考え方> あまりも0.1のいくつ分と考える。</p> <p><知識・理解> 小数÷整数の筆算であまりの表し方が分かる。</p>	<p>《考える段階》 あまりの4は0.1の4こ分であることをおさえる。</p> <p>《深める段階》 あまりの小数点の位置を確認する。</p> <p>商×わる数+あまり=わられる数を想起し、答の確かめをする。</p>
(じっくり) あまりも0.1のいくつ分として考えて計あまりの小数点の位置を確かめて計算する。	(チャレンジ) あまりのある小数÷整数の練習問題に取り組む。					

わり進みの計算	7	<p>小数÷整数や整数÷整数を計算する算数的活動を通して、わり進んでいくとわりきれの場合の計算があることに気づき、筆算を利用して計算することができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3.8mのテープを4等分します。1つ分は何mでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> • $3.8 \div 4 = 0.9$ あまり 0.2 だから 0.9m ずつで 0.2m あまる • $0.2m = 20 \text{ cm}$ だから、4等分できる。 • きちんと分けられないかと考える。 <p>2. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あまりの分け方を考えよう。</div> <p>3. 自分の考えをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> • あまりの 0.2m を 4 つに分ける方法を考える。 • 単位を 0.1 から 0.01 に変えて考える。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わり進んでいくには、0.01 のいくつか分、0.001 のいくつか分と見方を変えていく。</div> <p>6. 確かめる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。 わる数と商をかけることで、答えの確かめをする。</td> <td>わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p> </p></p></p></p></p>	(じっくり)	(チャレンジ)	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。 わる数と商をかけることで、答えの確かめをする。	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。	<p><数学的な考え方> 単位を 0.1 のいくつか分から、0.01 のいくつか分に変えて考える。</p> <p><知識・理解> わり進みの計算ができる。</p>	<p>《つかむ段階》 実物で4等分し、あまりはないことを確認する。</p> <p>《考える段階》 0.2 は 0.01 の 20 ごととみると4等分できることに気付かせる。</p> <p>《深める段階》 商×わる数+あまり=わられる数を想起し、電卓を用いて答の確かめをする。 実際のテープも測定して0.95mになることを確認する。</p>
	(じっくり)	(チャレンジ)							
	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。 わる数と商をかけることで、答えの確かめをする。	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。							
8	<p>整数÷整数を計算する算数的活動を通して、わりすすんでいくとわりきれの場合の計算のしかたを理解し、筆算で計算することができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2÷8の計算のしかたを説明しましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> • 前の時間のように分けられるのではないかと考える。 <p>2. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わりきれるまで計算しよう。</div> <p>3. 自分の考えをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> • 2を0.1の20こ分と考えてわり算する。さらに余った分を0.01のいくつか分の考え方でわり算する。これを繰り返す。 • 商の1の位に0をたて、小数点をつけた後、整数のわり算と同様に、あまりが0になるまで計算する。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">整数でわりきれない場合は、小数点をつけ、あとは整数のわり算と同じように、あまりが0になるまで計算する。</div> <p>6. 確かめる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。 • わる数と商をかけることで、答えの確かめをする。</td> <td>わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p> </p></p></p></p></p>	(じっくり)	(チャレンジ)	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。 • わる数と商をかけることで、答えの確かめをする。	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。	<p><表現・処理> 整数÷整数でわり進んで商が小数になる場合の計算を筆算でできる。</p>	<p>《考える段階》 0.1 のいくつか分から、0.01 のいくつか分に変えて考えているかを確認する。</p>	
(じっくり)	(チャレンジ)								
わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。 • わる数と商をかけることで、答えの確かめをする。	わり進んでいく筆算の練習問題に取り組む。								
9	<p>あまりを求めずに、商を概数で表す問題を解く算数的活動を通して、商を概数で表すには1つ下の位を四捨五入すればよいことに気づき、わりきれない商を四捨五入して概数で表すことができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">40kgのお米を23のグループで等分します。1グループ分は約何kgになるでしょう。商を四捨五入して、1/10の位まで求めましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> • 立式し、既習をもとに解決の見通しをもつ。 <p>2. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">商を四捨五入して表す方法を考えよう。</div> <p>3. 自分の考えをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> • 1/10の位まで求めるように、四捨五入する方法を考える。 • 1/10の位まで求めるには、1/100まで求めて四捨五入しなければならないことに気付く。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">四捨五入して1/10の位まで求めるには1/100の位まで計算する。</div> <p>6. 確かめる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>四捨五入して1/10の位まで求めるには、1/100まで計算してから、斜線をひいて概数にする計算に取り組む。</td> <td>1/100の位までや、1/1000の位まで求める場合について考え、計算に取り組む。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る</p> </p></p></p></p></p>	(じっくり)	(チャレンジ)	四捨五入して1/10の位まで求めるには、1/100まで計算してから、斜線をひいて概数にする計算に取り組む。	1/100の位までや、1/1000の位まで求める場合について考え、計算に取り組む。	<p><数学的な考え方> 1.7391…わりきれない商を四捨五入して概数で表そうと考える。</p> <p><知識・理解> 「四捨五入して1/10の位まで求めるには1/100の位まで計算する。」などわりきれない商を、概数で表す方法が分かる。</p>	<p>《考える段階》 何の位で四捨五入すれば1/10の位までの商になるかを考えさせる。</p> <p>《深める段階》 あまりをだすことに意味がないことをおさえる。</p>	
(じっくり)	(チャレンジ)								
四捨五入して1/10の位まで求めるには、1/100まで計算してから、斜線をひいて概数にする計算に取り組む。	1/100の位までや、1/1000の位まで求める場合について考え、計算に取り組む。								

練習1	10 練習問題に取り組み、理解を深める。	<p>1. 問題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小数×小数や整数÷整数の筆算で、どこに小数点をつけるかを考える。 小数×整数の計算練習をする。 小数÷整数、整数÷整数でわり進む計算練習をする。 小数÷整数、整数÷整数で商を1/10の位まで求めてあまりをだす計算練習をする。 文章を読み、小数のかけ算やわり算を利用して解くことを考える。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小数×整数や小数÷整数の問題を速く正確にできるようになる。</p> <p>4. 自分なりの考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書やノートを使って考える。 (じっくり) 算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。 (チャレンジ) 教科書の問題後、発展問題をもらってさらに取り組む。 <p>4. 考えを交流し、答合わせをする。</p> <p>5. 振り返る。</p>	<p><表現・処理> 小数のかけ算やわり算を計算することができる。</p>					
小数と倍	11 テープ図の長さを比べる算数的活動を通して、何倍かを表す時も、小数を用いることができることを理解することができる。	<p>1. 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テープの長さ 赤 60 cm 黄 30 cm 緑 45 cm 赤、緑のテープの長さは、それぞれ黄色のテープの何倍でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤のテープの場合について、考える。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テープ図や数直線から答を予想して、何倍になるかを考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ図と数直線から1倍と2倍の間になることを予想する。 赤のテープの場合と比較して、緑のテープについても立式する。 小数倍が存在することを確認する。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.5倍のように、何倍かを表す時にも小数を用いる事がある。</p> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>テープ図や数直線をもとに考え、練習問題を解く</td> <td>テープ図や数直線を使わずに練習問題を解く。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	(じっくり)	(チャレンジ)	テープ図や数直線をもとに考え、練習問題を解く	テープ図や数直線を使わずに練習問題を解く。	<p><表現・処理> 除法を用いて、小数倍を求めることができる。</p> <p><知識・理解> 何倍かを表す時も、小数を使えることが分かる。</p>	<p>《つかむ段階》 テープ図と数直線を書いて、何がもとの数になるかを明らかにする。</p> <p>《深める段階》 1.5倍の意味をテープ図と数直線を用いて明確にする。</p>
(じっくり)	(チャレンジ)							
テープ図や数直線をもとに考え、練習問題を解く	テープ図や数直線を使わずに練習問題を解く。							
	12 テープ図の長さを比べる算数的活動を通して、何倍かを表す時も、小数を用いることができることを理解することができる。	<p>1. 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テープの長さ 黄 30 cm 青 15 cm 青のテープの長さは、黄色のテープの何倍でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を想起して比較する。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前時の解き方をもとにして、何倍になるかを考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 整数倍の場合と比較して、緑、青、についても立式する。 小数倍が存在することを確認する。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0.5倍のように、何倍かを表す時に1より小さい小数を用いる事がある。</p> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>テープ図や数直線をもとに考え、練習問題を解く</td> <td>テープ図や数直線を使わずに練習問題を解く。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	(じっくり)	(チャレンジ)	テープ図や数直線をもとに考え、練習問題を解く	テープ図や数直線を使わずに練習問題を解く。	<p><数学的な考え方> くらべる量の大きさにかかわらず、整数の場面をもとに、黄色のテープの長さでわればよいと類推して考える。</p>	<p>《考える段階》 0.5倍の意味をテープ図と数直線を用いて明確にする。</p>
(じっくり)	(チャレンジ)							
テープ図や数直線をもとに考え、練習問題を解く	テープ図や数直線を使わずに練習問題を解く。							

練習2	13	練習問題に取り組み、理解を深める。	<p>1. 問題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分配法則や結合法則を適用した計算を練習する。 何倍かを求める除法の適用問題を練習する。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小数の問題を速く正確に解く練習をしよう。</p> <p>4. 自分なりの考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書やノートを使って考える。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。</td> <td>練習問題後、数の見方に取り組む。</td> </tr> </table> <p>4. 考えを交流し、答合わせをする。</p> <p>5. 振り返る。</p>	(じっくり)	(チャレンジ)	算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。	練習問題後、数の見方に取り組む。	<p><表現・処理></p> <p>小数のわり算についての問題を解くことができる。</p>	
(じっくり)	(チャレンジ)								
算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。	練習問題後、数の見方に取り組む。								
まとめよう	14	単元における基礎・基本問題や発展的な問題に取り組み、理解を深める。	<p>1. 問題を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小数×整数、小数÷整数の計算のしくみ 小数×整数、整数÷整数、小数÷整数でわりすすむ筆算 小数×整数と小数÷整数の計算 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">数のかけ算やわり算についてたしかめをしよう。</p> <p>3. 自分なりの考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書やノートを使って考える。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(じっくり)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">(チャレンジ)</td> </tr> <tr> <td>算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。</td> <td>教科書の問題を解いた後、教科書やノート・筆箱など縦の長さは横の何倍かを調べる。</td> </tr> </table> <p>4. 考えを交流し、答合わせをする。</p> <p>5. 振り返る。</p>	(じっくり)	(チャレンジ)	算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。	教科書の問題を解いた後、教科書やノート・筆箱など縦の長さは横の何倍かを調べる。	<p><表現・処理></p> <p>学習したことをまとめることができる。</p>	
(じっくり)	(チャレンジ)								
算数コーナーで考え方のヒントをもらいながら取り組む。	教科書の問題を解いた後、教科書やノート・筆箱など縦の長さは横の何倍かを調べる。								